



主催：国立教育政策研究所チューニングによる大学教育のグローバル質保証—テスト問題バンクの取組

協賛：日本技術者教育認定機構・日本工学教育協会・日本機械学会（予定）

公開シンポジウム

高等教育と職業を繋ぐ学修成果測定

急速な少子化に直面する日本では、大学全体としての「規模の適正化」を図りつつ、教育研究の「質の高度化」によって「知の総和」向上を目指す高等教育政策が推し進められています。「質の高度化」策では、2004年から実施されてきた機関単位での教育研究等の総合的な状況に関する評価から、「学部単位での教育の質に特化した評価」に軸を移した「新たな評価」が計画されています。

「教育・学修の質向上に向けた新たな評価の在り方ワーキンググループ議論のまとめ」（令和8年6月3日）によると、この教育の質に特化した「新たな評価」では、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの策定・公開・実質化、学生の学修成果の把握と評価、及び学生の学びと成長の結果を基盤とした不断の自己改善のサイクルを稼働させているかが問われることになります。アウトカム・ベース教育への転換は、2000年代を通じて追求されてきましたが、いよいよ日本の高等教育のスタンダードとして確立することとなります。

世界の高等教育機関がアウトカム・ベース教育に移行した頃、経済協力開発機構は「高等教育における学修成果評価」プロジェクトを展開しました（OECD-AHELO, 2008～2012年）。日本は、工学分野における学修成果測定の取組に参画し、OECDによるプロジェクトが終了した後も、文部科学省国立教育政策研究所のプロジェクトとして継続し、その高度化を追求してまいりました（2014年～）。アウトカム・ベース教育がスタンダードとなる今、私たちの10余年に及ぶ試行錯誤の成果を公表し、皆様に参照していただくことを通して、日本の高等教育の高度化に寄与することを願います。

- 開催日時：2026年10月24日（土）10:00～12:00（9:30開室）
- 開催方法：オンライン（関係者のみ対面）
 - オンライン会場：Microsoft Teams Webinar（参加登録者に送信）
- 参加申込み方法：

<https://events.teams.microsoft.com/event/f435acc2-b179-4e9c-8d97-e51ead297407@2927fb3f-5fd5-446d-9dd6-2fb55ffe9d6f>



プログラム

司会：田中一孝（桜美林大学リベラルアーツ学群教授）

10:00～	開会 岸本喜久雄（東京工業大学（現 東京科学大学）名誉教授 国立教育政策研究所フェロー）
10:05～	人口減少社会における高等教育政策-新たな認証評価と学修成果の評価 濱中義隆（国立教育政策研究所 高等教育研究部長）
10:20～	Tuning テスト問題バンクの取組から導かれた知見 深堀聰子（九州大学未来人材育成機構教授 国立教育政策研究所フェロー）
10:50～	大学・学会・職業社会の連携 井上裕嗣（東京科学大学工学院機械系教授） 有坂寿洋（株式会社日立アカデミー直属ファカルティ）
11:00～	生成 AI の活用による新たな展開 美馬秀樹（国立教育政策研究所教育データサイエンスセンター総括研究官） 斎藤有吾（新潟大学教育基盤機構准教授）
11:15～	パネルディスカッション モデレータ：田中一孝 パネリスト（登壇順）： 岸本喜久雄、濱中義隆、深堀聰子、 井上裕嗣、有坂寿洋、斎藤有吾、美馬秀樹
12:00	閉会 岸本喜久雄

お問い合わせ先：

〒100-8951 東京都千代田区霞が関3丁目2番2号 文部科学省国立教育政策研究所

担当：深堀聰子（運営委員会副委員長・国立教育政策研究所フェロー）

E-mail: fukahori.satoko.846@m.kyushu-u.ac.jp